



白石区 第31号

2026年 6月発行

生活応援ボランティアグループ ■ しろいし生活応援『ひだまり』

新たな仲間も随時募集中 一緒に活動してみませんか？



『ひだまり』は、白石区社会福祉協議会主催のボランティア講座の参加者が、受講後に活動しようと結成。在宅高齢者のちょっとした困りごとの解決のお手伝いをしています。活動希望、お困りごとのご相談は、白石区社会福祉協議会まで、ご連絡ください。
(※お問い合わせ先は、最下段参照)



楽しく、無理なく、元気に！

話し相手、ごみの搬出、買い物の付き添い、窓ふき、電球交換、家回りの手入れなど、地域で活躍されています。

【白石地区】～つながりが生まれています～ 乗善寺で「お寺おかゆカフェぽの・ぽの」を開催



乗善寺では、コロナ禍以前まで地域に住む方々がおかゆのランチを楽しみながら交流できる場を開催していましたが、コロナ禍以降は中止となっていました。そんな中、子ども食堂の運営などに取り組むNPO法人ぽの・ぽのと介護予防センター白石中央が新たに地域カフェを立ち上げることになり、乗善寺の協力のもと、5月9日(土)に「お寺おかゆカフェぽの・ぽの」を開催しました！

生活支援コーディネーター(白石区社会福祉協議会)は、会場探しや運営の協力をさせていただきました。

当日は65名もの参加があり、大盛況に終わりました。白石高校ボランティア部、お子さんの参加もあり、たくさんの笑顔が広がりました。

様々な世代の交流拠点としてさらに広がるよう、今後も2層生活支援コーディネーターとして応援させていただきたいと思います。

札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

TEL: 011-861-3700 FAX: 011-866-8999



【菊の里地区】菊水元町白菊町内会 『サロンきらく』～支え合いの居場所～

白菊会館で開かれている『サロンきらく』は、菊水元町白菊町内会が実施主体として、高齢者が孤立せず、お互いが支え合い、安息できる居場所を目指し、平成28年度に開設された後、健康で楽しく過ごせる集いの場、地域の見守りの起点の役割を担っています。



4月21日の訪問時は、第2地域包括支援センターによる介護保険の講話、介護予防センター菊の里による棒体操・レクを通じ、楽しく交流されている姿を拝見させていただきました。タオルリレー、脳トレの漢字クイズなどで盛り上がり、参加者同士、気心の知れた様子で、和やかに春のひとときを過ごされており、終了後も、言葉を交わす場面も多く、さりげない“つながり”の大切さを垣間見ることができました。

5月にはフラダンスがあつたり、月に1回(第3火曜日午前10時から)、開催内容なども工夫しながら取り組まれており、開始から約10年の歩み続ける貴重な居場所となっています。



4月から、第2エリア(東札幌、菊水、菊の里、北白石地区)は、阿部が担当させていただいております。このような、つながりの生まれる素敵な場や仕組みが増え、地域で温かな支え合いが広まっていくように、生活支援コーディネーターの立場から、応援させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【東白石地区】本郷町内会 「住民同士の支え合いに向けた話し合い」



本郷町内会(東白石地区)では、見守り活動の活性化に向けて、意欲的に取り組んできました。町内会福祉部主導のボランティア組織(暮らし応援隊)を結成するほか、月1回定期的に町内会通信も発行し、困りごとの把握にも努めています。

この度、福祉マップも有効活用しながら、更なる支え合いの活性化を図るため先日(5/18)話し合い(協議体)を開催しました。

話し合いの場では、個人情報保護を尊重した上での積極的な活動展開をいかに進めるべきかなど、活発な意見交換がなされました。結果、いくつかの方向性が決まりました。○これまでの福祉部主導から町内会全体での取り組みへとシフトチェンジ
○福祉マップの有効活用により対象世帯の状況把握・共通認識を進める
○まずは、困りごと(福祉課題)把握のための効果的周知チラシ作成を検討する
以上のような共通認識が図られました。



今年4月から、白石区第3エリア(東白石・白石東の2地区)生活支援コーディネーターの担当となりました石川と申します。

生活支援コーディネーターは、地域の困りごとと、その解決に向けてできること(人・企業・団体など)をつなぐ役割をしています。

今後、白石区の皆様にはお世話になります。支え合いの仕組みづくりについて一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします！